

請願第8号

教育・福祉・医療など様々な分野が連携し、社会全体で子どもたちの育ちを支援する体制づくりに関する請願

1 趣 旨

近年、子どもたちを取り巻く状況はますます深刻化している。いじめ、不登校、ヤングケアラー、外国にルーツを持つ子どもたち、貧困、虐待、発達障がいなど、様々な悩みを持ち支援を必要としている子どもたちが増えている。

このような状況に対応し、子どもたちの育ちを支えるためには、様々な機関が連携し重層的な支援が必要である。そのため、学校・医療・福祉・保健・警察など各分野の連携が求められる。

他県においては、様々な関係機関が連携し、子どもと子育てに関する情報を横断的に把握し、子ども子育ての総合相談を可能にする「子育て応援・相談センター」を設置している事例がある。福井県においても子どもたちが将来への希望を持ち、安全・安心に学べる環境をつくるためには、社会全体で子どもたちを育てていく仕組みが必要である。

そこで、下記のとおりに請願する。

記

いじめ、不登校、ヤングケアラー、外国にルーツのある子どもたち、貧困、虐待、発達障がいなど様々な悩みを持つ子どもたちを含め、子育てには重層的な支援が必要である。子どもたちや保護者の相談・支援につながりやすいよう、教育・福祉・医療など様々な分野が横断的に連携し、社会全体で子どもたちの育ちを支援できるようにすること。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民協議会 会長 笠松照喜

3 紹 介 議 員

西本正俊、北川博規、細川かをり、山岸みつる、西本恵一

4 受 理 年 月 日

令和6年11月20日